

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】M-40

申請日	2024/4/3	承認日	2024/5/13	委員長	印
レジメン登録日	2024/9/12	仮承認日		承認者	印

Nab-PTX+Pemb (6week)	病名	乳癌	外科	提出医	Dr
対象	トリプルネガティブ乳癌でPD-L1陽性の初回化学療法(転移・再発)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div, iv, po等	投与スケジュール (日)																
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78	85				
キイトルーダ(ペンブロリズマブ)	400mg/Body	div	○						○										
アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)	100mg/m ²	div	○	○	○		○	○	○		○	○	○						
投与間隔・休薬期間等：84日=1コース																			
当院でのカウント方法			1コース																
治験の投与間隔を参考にパスレジメンに組みこむため上記カウントでの登録とする。																			

【投与処方例 (前投薬など)】

- ※キイトルーダはフィルターを使用。アブラキサンはフィルター不可なので注意が必要。
- ※アブラキサン投与中は、手足をクーリングする
- ※キイトルーダとアブラキサンは泡立つため、ボトルは振らないこと

Day1. 43

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】 生理食塩液100mL+キイトルーダ /div 30分

キイトルーダは減量しない

- ③ メイン【白】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg /div 30分
- ④ Y側管【水色】 生理食塩液100mL＋アブラキサン /div 30分

アブラキサン1Vを生食20mLで溶解。残りの生食は全て抜き取り、空ボトルに溶解後のアブラキサンを必要量抜き取って入れる。

Day8. 15. 29. 36. 57. 64. 71

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg /div 30分
- ③ Y側管【水色】 生理食塩液100mL＋アブラキサン /div 30分

アブラキサン1Vを生食20mLで溶解。残りの生食は全て抜き取り、空ボトルに溶解後のアブラキサンを必要量抜き取って入れる。

【肝機能障害による減量基準】

※アブラキサン

- 1.5 < T-bil ≤ 2.25mg/dLかつAST < 300U/L : 100mg/m²
- 2.25 < T-bil ≤ 7.5mg/dLかつAST < 300U/L : 75mg/m²
- T-bil > 7.5mg/dLもしくはAST > 300U/L : 投与不可

【副作用による減量基準】

※アブラキサン(E法) 通常投与量 : 100mg/m²

- 1段階減量 : 75mg/m²
- 2段階減量 : 50mg/m²
- 3段階減量 : 投与中止

参考文献 : KYENOTE-355試験

キイトルーダ適正使用ガイド